

令和 4 年

小松島市議会学生議会議録

令和 4 年 11 月 7 日 開会

令和 4 年 11 月 7 日 閉会



小松島市議会

第 1 号

第 1 日

令和 4 年 11 月 7 日 (月曜日)

令和4年

小松島市議会学生議会議録

第 1 号

11 月

令和4年11月7日（月曜日）午後2時0分 開会

議 事 日 程（第1号）

- 第 1 議席の指定について
- 第 2 会議期間決定について
- 第 3 市政に対する一般質問

出席学生議員（17名）

小松島西高等学校	坂 井 心 音	議員	小松島中学校	徳 重 宥 毅	議員
小松島西高等学校	栗 本 侑 季	議員	小松島中学校	加 統 蓮 己	議員
小松島西高等学校	井 上 流 帆	議員	小松島中学校	田 中 翔 太	議員
小松島高等学校	早 川 蒼 真	議員	小松島中学校	江 口 慎 吾	議員
小松島高等学校	篠 原 朝	議員	小松島中学校	前 川 龍 太	議員
小松島南中学校	佐 野 修 斗	議員	小松島中学校	大 西 舞 和	議員
小松島南中学校	松 二 心 春	議員	小松島中学校	三 好 陽 大	議員
小松島南中学校	稼 勢 結 音	議員	小松島中学校	山 本 創 太	議員
小松島南中学校	小 谷 璃 心	議員			

欠席学生議員（2名）

小松島高等学校	岡 田 結 雲	議員	小松島中学校	宮 浦 優 乃	議員
---------	---------	----	--------	---------	----

市 議 会 議 員（17名）

1 番	南 部 透	議員	10 番	広 田 和 三	議員
2 番	津 川 孝 善	議員	11 番	池 渕 彰	議員
3 番	近 藤 純 子	議員	12 番	吉 見 勝 之	議員
4 番	佐 藤 光 太 郎	議員	13 番	前 川 英 貴	議員
5 番	井 内 章 介	議員	14 番	出 口 憲 二 郎	議員

6番	橋本	昭	議員	15番	井村	保裕	議員
7番	松下	大生	議員	16番	杉本	勝	議員
8番	四宮	祐司	議員	17番	佐野	善作	議員
9番	米崎	賢治	議員				

説明のため出席した者の職氏名

市長	中山俊雄	君	産業振興部長	茨木昭行	君
副市長	蔭山真応	君	都市整備部長・水道部長	小林潤	君
政策監	岡本光弘	君	会計管理者	芳賀美香	君
総務部長	西照保彦	君	消防長	堀淵修治	君
危機管理部長	吉岡忠則	君	副教育長	勢井孝英	君
市民環境部長	佐藤文幸	君	秘書広報課長	築原美奈子	君
保健福祉部長	田渕恭子	君			

議会事務局職員出席者

事務局次長	田中裕人	係長	森本美帆
係長	坂田美恵	主任	乾直子
	尾方めぐみ		

◎ 議長（米崎賢治議員）

皆さん、こんにちは。小松島市議会議長の米崎でございます。

本日、学生議会を開催するに当たり、各学校の学生の皆様並びに市長をはじめ、市行政の皆様には御出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、各学校長をはじめ、教職員の皆様には、お忙しい中、学生議会のために様々な御協力をいただきまして、この場をお借りいたしまして、改めて御礼を申し上げます。

このたびは、次世代を担う学生が市議会議員と話し合い、議場で質疑する過程を体験することにより、市政や議会への関心を高める機会となればという思いで学生議会を開催いたしました。今回の経験が学生の皆様や小松島市の未来にとって有意義なものになりますことを願っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎ 議会事務局長（田中裕人君）

開会前に報告事項を申し上げます。

本日は学生議会ということで、各学校から1名ずつ議長を選出しており、交代で議事を進行していただきます。また、学生が市議会議員の立場で行政に対して質問を行いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、開会前に注意事項を申し上げます。新型コロナウイルスの感染予防のため、手指消毒、うがい、マスク着用が励行されておりますが、御発言につきましては、発言者の発言内容を鮮明に聞き取ることはもちろん、会議録音のため、御着用のマスクを外しての発言も可といたしますので御了承ください。なお、傍聴者の皆様方にはマスク御着用の上、他の傍聴者の

方との間隔を十分に確保していただきますようお願いいたします。また、携帯電話等はあらかじめ電源を切り、またはマナーモードに設定し、通話等はしないようお願いいたします。

それでは、開会の合図により学生議会を始めますので、御準備をよろしくをお願いいたします。

◎ **議長（篠原 朝議員）**

ただいまより、本日の会議を開きます。議長を務めさせていただきます小松島高等学校の篠原朝です。よろしくをお願いいたします。

◎ **議長（篠原 朝議員）**

本日の議事日程については、お手元に配付いたしましたので御了承願います。

◎ **議長（篠原 朝議員）**

これより、本日の日程に入ります。

日程第1 議席の指定を行います。

議席は、ただいま御着席のとおり指定いたします。

~~~~~

◎ **議長（篠原 朝議員）**

次に、日程第2 会議期間決定についてを議題といたします。

本学生議会の会議期間については、本日1日と決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

◎ **議長（篠原 朝議員）**

御異議なしと認めます。

よって、学生議会の会議期間については、本日1日と決定いたしたいと思っております。

~~~~~

◎ **議長（篠原 朝議員）**

次に、日程第3 市政に対する一般質問に入ります。

通告の順序に従い、順次発言を許可いたします。

坂井心音議員。

[小松島西高等学校 坂井心音議員 登壇]

◎ **小松島西高等学校（坂井心音議員）**

令和4年学生議会において発言の機会を得ましたので、小松島西高等学校を代表して、3名の者が質問させていただきます。小松島西高等学校の坂井です。よろしくお願いいたします。

現在ある中田駅から小松島港までの遊歩道整備についての質問をさせていただきます。現在、本校のたくさんの生徒が登下校の際に、中田駅からの遊歩道を利用しています。車が通らず、安全で便利な反面、脇道の草木が伸びて薄暗く感じるときもあります。遊歩道をきれいに整備すれば、登下校で使う本校生徒だけでなく、散歩に使う地域住民にもいいと思いますし、市民のランニングやサイクリングコースとして健康増進の場や憩いの場になると思いますが、どうでしょうか。

◎ **議長（篠原 朝議員）**

小林都市整備部長。

[都市整備部長 小林 潤君 登壇]

◎ **都市整備部長（小林 潤君）**

坂井議員の御質問にお答えをいたします。

議員御案内のＪＲ牟岐線の中田駅と中心市街地を結ぶ自転車歩行者専用道路につきましては、昭和６０年３月に廃止されました旧国鉄小松島線の線路跡地、約１．９キロメートルのうち１．４キロメートルを平成６年７月２０日から供用開始した本市管理の道路となっております。この道路につきましては、中田駅と市街地のアクセスだけではなく、小松島ステーションパークと一体化し、市民が潤いと安らぎのある憩いの場として、また通勤、通学、お買物、ウォーキング等に安全で快適な都市空間として御利用いただいているところでございます。しかしながら、平成６年の供用開始から約２８年を経過し、施設各所に経年劣化が見られ、さらには人口減少、少子高齢化、また議員からも御提案がありましたように、市民ニーズの多様化など、変化に対応した機能、役割が求められております。

このような現状を踏まえまして、まず本年度に自転車、歩行者の安全な通行を確保するため、全ての街路照明をＬＥＤ照明灯に更新するとともに、樹木の伐採など日常的な管理も行っているところであります。また、今後の展望を見据えまして、本市の誇る港を核に、小松島ステーションパーク、当該自転車歩行者専用道路や、現在整備を進めております日峯大神子広域公園（脇谷地区）が一体化することにより、新たなまちのにぎわいが生まれる都市空間の創造に向けた計画の検討に着手いたしましたところであります。

今後におきましては、議員から御提案いただきました大変御貴重な御意見等も踏まえまして、自転車歩行者専用道路の新たな機能創出に向けた検討を進めるとともに、特にランニングやサイクリングコースにつきましては、国道や県道も含め、市域全体でのネットワークの形成を検討してまいりますので、引き続き、自転車歩行者専用道路を御利用される若い世代はもとより、あらゆる世代が健康増進の場や憩いの場として、安全で快適な都市空間を実感していただけるよう、その実現に向けましてしっかりと努めてまいりますので、引き続き御支援賜りますよう、よろしく願いいたします。

◎ **議長（篠原 朝議員）**

坂井心音議員。

◎ **小松島西高等学校（坂井心音議員）**

よく分かりました。ありがとうございました。

これで私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（篠原 朝議員）**

栗本侑季議員。

[小松島西高等学校 栗本侑季議員 登壇]

◎ **小松島西高等学校（栗本侑季議員）**

小松島西高等学校の栗本侑季です。徳島市に新しく体育館ができると聞きました。小松島市にもスポーツイベントができる体育館を造っていただくことはできないでしょうか。設備が整った体育館を建てることによって、県内のスポーツイベントを誘致することができると思います。さらに、小松島市民が楽しめるスポーツイベントを開催することで、スポーツの盛んな市としてＰＲできるのではないかと考えています。どうでしょうか。

◎ **議長（篠原 朝議員）**

勢井副教育長。

[副教育長 勢井孝英君 登壇]

◎ **副教育長（勢井孝英君）**

栗本議員の御質問にお答えいたします。

現在、本市の屋内体育施設としては、市立体育館や市立武道館、旧坂野中学校、旧立江中学校体育館、少年武道場、市内小・中学校体育館の夜間・休日の開放利用があります。中でも、市立体育館、武道館、旧坂野、旧立江中学校体育館は、日曜日・祝日の休館日を大会等での利用に提供しており、今年度4月から10月末までの間に市立体育館、武道館だけで9種目、29大会に利用いただき、この中には、県大会や四国予選大会など、大きな大会もあります。また、小松島市民や所属・登録が小松島市となっているチームを対象にした大会もたくさん開かれています。このような大会には、各競技の愛好者が参加していますが、市立体育館では初心者向けに硬式テニス、軟式テニス、卓球の教室を週6回開いています。また、会員制のみなど小松島スポーツクラブでは、ピラティス、太極拳、ソフトバレーボールなど13種目の教室を行っております。誰でも気軽に参加していただくことができます。設備が対応しておらず、利用できない競技もありますが、各競技の団体や指導者の方とも相談しながら、スポーツ大会、教室の充実を図り、より多くの市民の皆さんにスポーツに親しんでいただけるよう取り組んでおります。

現在の市立体育館は建築後かなりの年数がたっており、将来的には建て替えしていく計画になっています。その際には、施設の規模や設備などの見直しを行い、市民の皆様がより充実したスポーツ活動を楽しめるような総合的なスポーツ施設として考えてまいります。

◎ **議長（篠原 朝議員）**

栗本侑季議員。

◎ **小松島西高等学校（栗本侑季議員）**

いろいろ取り組んでいることがよく分かりました。

以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（篠原 朝議員）**

井上流帆議員。

[小松島西高等学校 井上流帆議員 登壇]

◎ **小松島西高等学校（井上流帆議員）**

小松島西高等学校の井上です。新型コロナウイルス感染症も、感染拡大の峠を越えたと感じるこの頃です。学校でも、修学旅行や学校祭など、いろいろな行事もコロナ前と同様に戻りつつあります。拡大以前に小松島市が開催していたイベントの再開や、大規模なマルシェを開催することで活気があふれ、若者も集まるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。また、市内の中学校、高校が連携したイベントの開催や発表会等の機会があれば、地域を盛り上げることができるのではないかと考えますが、どうでしょうか。

◎ **議長（篠原 朝議員）**

中山市長。

[市長 中山俊雄君 登壇]

◎ **市長（中山俊雄君）**

井上議員の御質問にお答えいたします。

本市におきましては、小松島港まつりをはじめ、みなとマルシェなど多様なイベントを開催しております。今年度におきましては、市制70周年記念阿波踊りが開催され、多くの市民の皆様や市外の方々に楽しんでいただきました。昨日、開催されました小松島逆風ハーフマラソンでは高校生ボランティアの皆様にもお手伝いをいただき、多くのランナーが小松島市内を疾走し、大盛況のうちに幕を閉じました。また、12月には絵本ワールドの開催が予定されております。議員御提言の大規模なイベントの開催でございますが、開催規模が大きくなりますと、事故のないように安全対策の検討、また駐車場の確保などの問題があります。本市といたしましては、このような課題を解決しながら開催に向けて支援できたらと考えております。また、市内の中学校、高校が連携したイベントや発表会等につきましては、大変有意義であると考えております。今年度におきましては、高校の演劇部と連携して発表会を企画しております。来年度以降につきましては、例えば小松島市民デーと銘打って、サウンドハウスホールを無料開放し、市内の高校と連携でファッションショーを開催したり、既存イベントとのコラボを企画するなど、中学生、高校生にいろんな発表の場を創出してみたいと考えております。本市の活性化や地域を盛り上げるためには、学校と地域、行政の連携が不可欠であります。これからの小松島市の未来を担う中学生、高校生の皆様の自由な発想と企画力は本市においても大きな力となりますので、今後の皆様の御活躍を大いに期待しております。

◎ **議長（篠原 朝議員）**

井上流帆議員。

◎ **小松島西高等学校（井上流帆議員）**

様々なイベントの企画を考えてくれていることにうれしく思いました。ありがとうございます。

以上で、小松島西高等学校3名の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（篠原 朝議員）**

以上で、小松島西高等学校の通告による市政に対する一般質問は終了いたしました。

小休いたします。

午後 2時24分 休憩

午後 2時35分 再開

[議長 井上流帆議員 議長席に着く]

◎ **議長（井上流帆議員）**

小休前に引き続き会議を開きます。

議長を務めさせていただきます小松島西高等学校の井上流帆です。よろしくお願いたします。

早川蒼真議員。

[小松島高等学校 早川蒼真議員 登壇]

◎ **小松島高等学校（早川蒼真議員）**

小松島高等学校3年の早川蒼真です。学生議会で質問の機会を得ましたので、小松島高等学校からは3名が代表して質問する予定でしたが、1名欠席となりましたので、今日は2名で頑張りたいと思います。

それでは、発言通告書に従って、私から2点質問させていただきます。

1点目は、徳島市や阿南市と比べて就職先が少ないことについて、2点目は仕事をしている人を支えるだけの子育て支援があるのかについてです。

では、まず1点目、徳島市や阿南市と比べて就職先が少ないことについて質問させていただきます。

最近、私の周りには就職活動をしている人がたくさんいますが、その人たちのほとんどが他市の企業に就職を希望しています。その主な理由として、大きな企業に就職したいから、安定した仕事に就きたいから、小松島市は阿南市や徳島市と比べて、そもそも企業数が少なく、就職が難しいからなどがありました。このような人たちを市内にとどめるには、市内に企業を誘致して、若者が働きたいと思えるような場所を増やすのが重要だと思いますが、市の考えをお伺いします。

◎ **議長（井上流帆議員）**

茨木産業振興部長。

[産業振興部長 茨木昭行君 登壇]

◎ **産業振興部長（茨木昭行君）**

早川議員の御質問にお答えいたします。本市においては、大企業は2社ございますが、特色のある中小企業も数多くあり、本市において発行しています企業ガイドブックでは、大企業も含めて58社を御紹介させていただいております。また、女性に人気のある事務職の求人が不足しているという課題に対し、平成30年度から、都市部からの企業誘致に取り組んでおり、これまで2社に進出していただき、株式会社エスプールリンクで22名、株式会社うるるBPOで100名の合計122名を雇用していただいております。本年度については、会社の業務の代行やネットショップの支援などを手がけるFBマネジメントグループが、本日11月7日に、市の中心部に事業所を開設いたしました。同社は、業務開始時には20名程度を採用し、今後3年間で100名程度の方々を採用すると聞いております。首都圏など都市部からの企業の進出は、活気のある小松島市につながるものと期待しておるところであり、今後も引き続き企業誘致に取り組んでまいります。そのほか、令和3年度からはテレワークや在宅ワークなど、様々な働き方を市民の皆様にご存知いただくための取組を進めております。テレワークは、子育ての合間など空いている時間を有効に使える手段として、全国でも普及が進んでおり、小松島市においても、みなと交流センターkocolo内にこまつしま働き方支援センターを設置し、セミナーの開催や相談窓口を設置して、個別の相談にも対応いたしております。また、今年度からは全国でも先進的な取組といたしまして、結婚や育児などで一度仕事を離れた人を対象に、仕事に復帰する上で必要な学びを行うリカレント教育や、現在の能力に新たな能力を身につけるリスキリングなどにも取り組んでおり、幅広い分野で支援に努めております。こうした施策により、首都圏等との所得格差を解消していきたいと考えております。加えて、みなと高等学園においては、県内企業約130社で現場実習を、小松島西高等学校では市内企業でキャリア教育を実施しております。学生の皆様も就職を考える時期には、インターンシップなどを利用して市内企業も知っていただけたらと思います。

今後におきましても、働きやすい環境づくりを進めながら、小松島市に住み続けたい、住んでよかったと実感できるまちづくりを推進してまいります。

◎ **議長（井上流帆議員）**

早川蒼真議員。

[小松島高等学校 早川蒼真議員 登壇]

◎ **小松島高等学校（早川蒼真議員）**

御答弁いただき、ありがとうございます。では、2点目、仕事をしている人を支えるだけの子育て支援があるのかについて質問させていただきます。

近年、小松島市も含め、日本中で人口減少が加速している中、兵庫県明石市や埼玉県さいたま市などでは人口が増加しています。その主な理由として、市の福利厚生が整っていることが挙げられます。例えば、兵庫県明石市では中学校の給食費が無償化され、子ども食堂は市内46か所に広がっていると聞きます。小松島市も先ほどお伝えした企業誘致、また福利厚生を充実させることで、他市や他県に出ていく人をとどめることができると考えます。また、それにより、市の財政も潤い、小松島市がかねてより目標にしている医療福祉都市としての機能を果たすことができ、さらにそれを求めて他市や他県から人が流入し、それに伴い、商業施設や娯楽施設が増え、活気のある小松島をつくることのできるのではないのでしょうか。御答弁をお願いいたします。

◎ **議長（井上流帆議員）**

田淵保健福祉部長。

[保健福祉部長 田淵恭子君 登壇]

◎ **保健福祉部長（田淵恭子君）**

早川議員の御質問にお答えいたします。

議員御指摘のとおり、若い世代が安心して労働できる環境を創出することは、地域に活力が生まれ、またそれが子どもを産み育てる環境づくりにつながるものであると理解するところであります。現在、小松島市におきましては、まず児童福祉課では、小学校入学前の子どもさんには保育所運営をはじめ、都度、保育時間を1時間ほど延長できる延長保育事業や、急な風邪症状などにより、保育所等に預けられなくなった場合に利用できる病児保育事業、また小学生児童対象では、放課後児童健全育成事業、一般に言う学童保育クラブが市内7小学校区で開かれており、働く保護者の支援サービスの提供に努めているところであります。

保育所利用につきましては、国による令和元年10月からの3歳児から5歳児までの保育料無償化に加えまして、本市独自施策として、3歳児から5歳児への副食費、給食のおかず代の無償化を同時期より実施しております。さらには、本年9月からは0歳児から2歳児につきましては保育料を約20%減額し、保護者の負担軽減に努めております。

一方、保健センターにおきましては、保健師、助産師の専門職による、妊婦期から産後の健康支援等の充実を図るため、令和3年4月に母子健康包括支援センターおひさまの開設をはじめ、妊婦健診事業や乳児家庭全戸訪問事業、本市では、こんにちは赤ちゃん事業と申しますが、このようなサービスの提供に努めており、産休、育休からのスムーズな職場復帰につながる支援を行っております。

本年3月に策定いたしました小松島市第6次総合計画後期基本計画におきましては、先ほど申しました取組につきまして、さらなる充実化をしていくことといたしております。今後も時代のニーズに合った子育てと仕事のバランスの取れる働き方、ワーク・ライフ・バランスを支援できるよう努めてまいります。

◎ **議長（井上流帆議員）**

早川蒼真議員。

◎ **小松島高等学校（早川蒼真議員）**

市の様々な取組が分かりました。ありがとうございました。
以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（井上流帆議員）**

篠原朝議員。

[小松島高等学校 篠原 朝議員 登壇]

◎ **小松島高等学校（篠原 朝議員）**

小松島高等学校3年の篠原朝です。まず初めに、私は陸上競技部に所属しており、陸上選手の視点から話させていただくので意見の偏りがあるかもしれませんが、御了承ください。また、中山市長さんはトライアスロンやフルマラソン経験が豊富とお聞きしており、トラック競技ではありませんが、スポーツに関心が高いと思われまますので、親身になって思いをお聞きいただければと思います。

私は、和田島町のJAあいさい緑地の砂地のトラックをゴムの素材を使用したタータントラックに改修工事をするように、県のほうに要請をお願いしたいと考えます。新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの陸上選手はチームでの活動が制限され、自主練習を余儀なくされました。練習をするにはトレーニングをする環境が必要であり、私も含め多くの選手がJAあいさい緑地のトラックを利用できることのありがたみを感じました。しかし、試合で使われているのはゴムの素材を使用したタータントラックであり、練習と試合のときの環境が違うことから、走りの感覚にずれが生じます。反対意見として、近隣他市の競技場に行けばよいという意見もあります。確かに、徳島市南田宮にはワークスタッフ陸上競技場が、阿南市桑野町にはJAアグリあなん陸上競技場があります。しかし、小松島市民が練習のたびに他市の競技場に公共交通機関や自転車を利用していくには、お金や時間を要してしまい、短時間で練習を切り上げたい陸上選手にとっては難しいことだと考えられます。また、競技をしながらアルバイトをするということは学生にとっては難しく、金銭的な面で近隣他市の競技場に行くのは回数が限られます。和田島町のJAあいさい緑地のトラックをタータントラックにすることによって、小松島市民の陸上選手にとっての利便性が増し、陸上選手が練習をする場以外でも、昨日行われた小松島逆風ハーフマラソンのようなイベントを競技場内で開催することも可能だと考えます。市の考えをお伺いします。

◎ **議長（井上流帆議員）**

中山市長。

[市長 中山俊雄君 登壇]

◎ **市長（中山俊雄君）**

篠原議員の御質問にお答えいたします。タータントラックとは、陸上競技場の全天候型トラックの通称で、水はけがよく、濡れても滑りにくいため、雨の日でも競技を行うことができ、アンツーカートラックに比べて反発力があるため、好記録が期待できます。また、競技のたびに走路をならしたり、レーンやラインを描く必要もなく、競技者や運営者の両者にとって非常にメリットが大きいと考えられます。私も徳島市南田宮のワークスタッフ陸上競技場や、高知市の春野総合運動公園陸上競技場でタータントラックを走った経験があり、篠原議員の御意見に大変共感を覚えるところであります。和田島町のJAあいさい緑地は、港で働く人々が憩い、集い、くつろげる場所として、また周辺の住民がスポーツ等を楽しみに散策できる場所として

設置していると県から伺っております。しかし、小松島市にとっては、市小学校陸上記録会や市民クロスカントリー大会を開催したり、徳島駅伝小松島市選手団の強化練習に使用しており、本市の陸上競技の普及振興になくてはならない施設であると思っております。そうした利用がこれからもできることを前提に、多目的広場全般の利用状況を踏まえ、必要に応じてタータントラックや芝生の植栽などの改修要望をしっかりとしまいたいと考えております。

◎ **議長（井上流帆議員）**

篠原朝議員。

◎ **小松島高等学校（篠原 朝議員）**

中山市長さんに私の意見を共感していただき、大変うれしく思いました。本日はありがとうございました。

以上で、小松島高等学校の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（井上流帆議員）**

以上で、小松島高等学校の通告による市政に対する一般質問は終了いたしました。

小休いたします。

午後 2時56分 休憩

午後 3時05分 再開

[議長 加統蓮己議員 議長席に着く]

◎ **議長（加統蓮己議員）**

小休前に引き続き会議を開きます。

議長を務めさせていただきます小松島中学校の加統蓮己です。よろしく願いいたします。

佐野修斗議員。

[小松島南中学校 佐野修斗議員 登壇]

◎ **小松島南中学校（佐野修斗議員）**

僕は小松島南中学校3年生の佐野修斗です。学生議会で質問の機会を得ましたので、小松島南中学校からは3名が代表して質問をいたします。

下校時における街灯設置についてお聞きします。

小松島市へ1つ提案があります。それはぜひ街灯の設置をお願いしたいということです。僕は中学校3年間を通して男子バレーボール部に所属していました。部活動が終わるのはいつも18時頃でした。特に冬になると辺りはすっかり暗くなっています。家に向かうときの道には街灯がないため、道がどのように続いているのかが分からず、とても不安を感じていました。また、雨が降ったときには視界も悪くなり、前がよく見えないため危険だと感じることもありました。特に川沿いなどはガードレールがないところもあり、街灯がないと落ちそうになります。実際、友達も塾の帰り道に田んぼに落ちていました。また、車などが通らないような細い砂利道や田んぼの横の道は非常に暗く、不審者などがいつ現れてもおかしくない状態のため、犯罪も起きるのではないかと心配です。

プロジェクターをお願いします。（資料写真をスクリーンに映す）

まず、事例1を御覧ください。こちらは、大林町の新開小学校から南方面行きの道路を撮影したものです。昼間は見通しがよいのですが、暗くなると先が見えなくなります。

次に、事例2をお願いします。こちらは立江町の市立体育館近くの神社までの道になります。

こちらも夜間は真っ暗となり、事故や犯罪が起きるのではと不安に感じます。

写真は以上です。ありがとうございました。

僕たち中学生だけではなく、小松島市に住んでいる人たちも不安に感じていると思います。その不安を解消するためには街灯が必要だと思います。ただ、街灯を設置するためには多くの費用がかかると思います。しかし、街灯が設置され、住みやすいまちになれば、きっと人が集まります。人が集まれば、まちにも活気が生まれます。そうすれば、小松島市は発展し、生まれ変わっていくのではないのでしょうか。そんな魅力あるまちにするためにも、まず街灯を設置できないのでしょうか、お願いいたします。

◎ **議長（加統蓮己議員）**

小林都市整備部長。

[都市整備部長 小林 潤君 登壇]

◎ **都市整備部長（小林 潤君）**

佐野議員の御質問にお答えをさせていただきます。

現在、本市に設置されております街路灯の現状について、まず申し上げたいと思います。本市が管理しております街路灯、約1,200基と、各自治会等が管理している街路灯、約600基の約1,800基のほかに、国道や県道の道路管理者が設置している街路灯もあります。そうした一方で、街路灯は農作物の成長に影響があることから、田畑の近くなど、設置が進んでいない箇所もございます。このうち本市管理の街路灯につきましては、令和3年度からLED街路灯導入事業化に取り組みまして、令和4年9月末までに全ての街路灯のLED化を完了しております。これによりまして、街路灯の維持・管理費の低減や、地域防犯の強化、さらには地球温暖化防止対策として、低炭素化により、CO₂（二酸化炭素）排出量を大幅に削減するなどの環境対策に寄与しているところであります。

議員から御質問がございました、自らの体験を通した、夜間における交通安全の確保や犯罪発生防止などの通学路における街路灯の設置につきましては、警察、教育委員会、学校、道路管理者等の関係機関で組織した小松島市通学路安全推進協議会による定期的な合同点検の実施や対策の改善、充実等の継続的な取組を通じまして、街路灯の設置、防護柵の設置など、さらなる交通安全確保にしっかりと努めてまいりたいと考えております。

また、近年ではLED灯を使用したライトアップイベントの開催でありますとか、観光地において、行き先を照らした危険を察知し、安心できる道しるべとなる灯りを設置する実証実験も行われるなど、安心感やまちのイメージアップにも使用されておりますので、議員をはじめとする次代を担う皆様方からの御意見や御要望をいただく機会を通じ、皆様方とともに、将来の魅力あるまちづくりの実現に向けた取組を推進してまいりたいと、このような考えでございますので、引き続き御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

◎ **議長（加統蓮己議員）**

佐野修斗議員。

◎ **小松島南中学校（佐野修斗議員）**

非常に分かりやすい説明ありがとうございました。

以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（加統蓮己議員）**

松二心春議員。

[小松島南中学校 松二心春議員 登壇]

◎ **小松島南中学校（松二心春議員）**

私は小松島南中学校3年、松二心春です。学生への支援について、提案があります。それは経済的な援助です。最近、私にとってとても悲しいことがありました。ネットの中学生の書き込みで、受験にお金がかかるし、兄弟の入学と重なるから、遠足に行くのは難しいかもしれないというものがありませんでした。中学校生活の中で1つの大きな思い出となるはずだったものがなくなってしまうのは、とてもつらいことだと思います。さらに、塾に行きたいけれど、お金がかかってしまうから行けないという人もたくさんいました。そんな人たちを見て、私は少し違和感を覚えました。もっと勉学に励みたいという若者の前向きな思いが家の経済的な理由で断念されてしまうのはとてももったいないことです。こんなにも悲しい今の状況は改善されるべきことだと思います。

そこで、どうか小松島市から中学生へ少しでもお金を補助してほしいと思っています。今のままだと夢を諦めることになってしまう学生が増えていくのではないかと思います。もし、学生にお金が援助されるようになったら、喜ぶ学生も多いただろうし、何よりも小松島市が学生にお金を出したと知ったら、そこから必ず小松島市への感謝の気持ちも芽生えてくることだと思います。どんな経緯でお金を出すことになったんだろうなどと、学生だけでなく、その家族からも小松島市への政治的な関心を湧かせることにもつながると思います。学生たちはお金をもらって満足に勉強ができて、小松島市もより多くの人たちに政治について関心を持たれてうれしいなんて、とてもいいことだと思います。ここはぜひ経済的な援助をしていただきますようお願いいたします。

◎ **議長（加統蓮己議員）**

勢井副教育長。

[副教育長 勢井孝英君 登壇]

◎ **副教育長（勢井孝英君）**

松二議員の御質問にお答えいたします。

皆さんが通っている学校の校舎や机、椅子、教科書など、学校のほとんどのものは税金が使われています。同じように、子どもを育てる世帯等への支援として、中学校を卒業するまで支給される児童手当や、ひとり親世帯等に対しては高校を卒業するまで児童扶養手当が支給されています。小松島市の取組では、経済的理由により、就学が困難な場合には、小・中学生の子どもがいる家庭に対し、学用品費や給食費、修学旅行費などを支給する就学援助制度や、高校生を対象とした市の奨学金支給制度があります。そのほかに、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、生活費の確保が困難な小松島市出身の大学生や専門学校生に、小松島市頑張る学生応援事業を実施し、応援物資として、昨年度は小松島産のお米5キログラム、今年度は地元事業のカップうどん2ケースを送りました。大学に進学し、勉学に励み、力を発揮したい子どもたちを支援する国の奨学金制度として、日本学生支援機構や日本政策金融公庫があります。さらに、企業や民間団体、大学や専門学校も独自で奨学金制度を実施し、次世代を担う子どもたちの支援を行っています。現在、大学への進学に対しての小松島市独自の支援制度はありませんが、国や県、市の様々な制度や事業を活用して、進路の実現に向けて取り組んでください。

◎ **議長（加統蓮己議員）**

松二心春議員。

◎ **小松島南中学校（松二心春議員）**

よく考えられていることが分かりました。質問ができてよかったです。
以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（加統蓮己議員）**

稼勢結音議員。

[小松島南中学校 稼勢結音議員 登壇]

◎ **小松島南中学校（稼勢結音議員）**

私は小松島南中学校3年、稼勢結音です。初めに、徳島市と阿南市は人口が多く、ショッピングモールがあり、発展しているのに、間に挟まれている小松島市は人口が少なく、ショッピングモールもなく、発展していないことについて、どうお考えか、お聞きしてよろしいでしょうか。

◎ **議長（加統蓮己議員）**

茨木産業振興部長。

[産業振興部長 茨木昭行君 登壇]

◎ **産業振興部長（茨木昭行君）**

稼勢議員の御質問にお答えいたします。

人口減少と、それと同時に進行する少子高齢化は、本市のみならず地方都市における大きな課題となっております。人口の増減については、国が5年ごとに調査する国勢調査というものが 있습니다。最新の2020年の調査では、5年前の2015年と比較して、徳島県全体で3万6,029人の減少となっております。県人口は71万9,704人となっております。近隣の市の減少率を見ますと、徳島市では2.39%、阿南市では4.79%となっているところ、小松島市では6.62%の減少となっており、周辺の市と比較して、減少率が高くなっております。本市は、四国と本州を結ぶ港町として栄えておりましたが、国鉄小松島港線の廃止、フェリーや企業が撤退したことなどを背景に人口減少が進んだと考えております。

そこで、小松島市では、この人口の減少問題を最も重要な課題として捉え、持続可能なまちづくり、活気のあるまちづくりの重要な視点として、若い人たちに選んでいただき、定住していただけるよう、個性的で魅力のあるまちづくりを実施していく必要があると考えております。個性的で魅力のあるまちづくりの実現には、港周辺の活性化が必要不可欠であり、新たなにぎわいをつくるための計画づくりに現在取り組んでいるところであります。港町の風景を生かしつつ、港にあるk o c o l oやたぬき広場、市立図書館を大人も子どもも集まれるにぎわいのある施設に変えるとともに、港周辺エリアを、世代を超えて楽しめる、皆様のような学生の方々にも楽しんでいただけるような新たな空間にしたいと考えております。

また、小松島競輪場では市民の皆様や市外の方々に気軽に来ていただけるスポーツパークの整備を予定しており、多くの人が老若男女を問わず集まれるスポーツ施設を造っていくこととしております。具体的にどのような施設があったらいいかについて、市民の皆様の御意見を聞くこととしておりますので、学生の皆様からもたくさんの御意見をいただきたいと思っております。こうした地域の資源を再生するとともに、新たな魅力を発掘することで、小松島市に住んでいただける人や訪れる人を増やし、小松島市の発展につなげていきたいと考えています。

◎ **議長（加統蓮己議員）**

稼勢結音議員。

[小松島南中学校 稼勢結音議員 登壇]

◎ **小松島南中学校（稼勢結音議員）**

お答えいただき、ありがとうございました。次の質問に移ります。

私は、小松島市、特に小松島南中学校エリアのまちづくりについて提案があります。私は、最近思うことがあります。それは、小松島市の中学校の生徒数の減少についてです。小松島中学校は、昔、1学年で300人くらいいたそうですが、今では200人になり、小松島南中学校は開校したときからどんどん人数が減り、今では1学年で100人を切っている学年もあり、4クラスから3クラスに変わっています。そこで小松島市が徳島市や阿南市ぐらい住む人が増えて、魅力的なまちになってほしいと思いました。

そこで、魅力的なまちには何があるのか、考えてみました。魅力的なまちにはイオンモールなどの大型ショッピングモールや有名な雑貨屋、食べ物屋さんなどがあると思います。人口が多く、魅力的なまちにはそういった店が必要だと思います。また、大型ショッピングモールが近くにあると、わざわざ遠くまで買物に行かなくてよくなるし、徳島市などのほかの市の人小松島市の大型ショッピングモールに来てくれるのではないかと思います。どうか小松島市に大型ショッピングモールや有名なお店を誘致していただけないでしょうか。

◎ **議長（加統蓮己議員）**

中山市長。

[市長 中山俊雄君 登壇]

◎ **市長（中山俊雄君）**

稼勢議員の御質問にお答えいたします。

先ほど産業振興部長よりお答えさせていただきましたように、小松島市においても、少子高齢化に伴う人口減少が進んでおり、この人口減少に歯止めをかけるため、いろいろな計画を立てて、住みよいまち小松島市を目指して努力しております。議員からは、人口を増やし、魅力的なまちにするため、大型ショッピングモールや有名なお店を誘致してはどのお話がありました。議員からのお話があったとおり、それらを誘致することで、地域の皆様の買物の利便性や楽しさ、憩いの場の提供など、まちの魅力の向上につながり、近隣のまちからも小松島市に来ていただけたと思います。

一方で、大型ショッピングセンターの誘致などにつきましては、中心市街地の空洞化を招くなど、様々な課題があります。どのような課題があり、どのような対策が必要なのか、関係者や地域の方々の幅広い意見を聞くとともに、地元の小さな商店も大事にし、共存共栄を図っていくことが必要であると考えております。個性ある地元商店が集まるまちは、他のまちから大勢が訪れる魅力的なまちにもなり得ると考えております。人と人がつながる地域共生社会の実現に向けて、地元商店と市民や学生の皆様が共につながるような、元気なまち、小松島市にしたいと考えておりますので、皆様の斬新で柔軟な頭でアイデアをいただきながら、未来に希望が持てる小松島と一緒に取り組んでまいりましょう。よろしく願いいたします。

◎ **議長（加統蓮己議員）**

稼勢結音議員。

◎ **小松島南中学校（稼勢結音議員）**

よく分かりました。ありがとうございました。小松島市をもっともっとよりよいまちにするために、私たちの意見について、御検討よろしく願いします。

以上で、小松島南中学校の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（加統蓮己議員）**

以上で、小松島南中学校の通告による市政に対する一般質問は終了いたしました。
小休いたします。

午後 3時33分 休憩

午後 3時45分 再開

[議長 小谷璃心議員 議長席に着く]

◎ **議長（小谷璃心議員）**

小休前に引き続き会議を開きます。

議長を務めさせていただきます小松島南中学校の小谷璃心です。よろしくお願いいたします。
徳重宥毅議員。

[小松島中学校 徳重宥毅議員 登壇]

◎ **小松島中学校（徳重宥毅議員）**

小松島中学校2年の徳重宥毅です。小松島中学校は、大きく3つのテーマに分けて質問します。

1点目は、小松島インターチェンジの開通に向けた小松島市の活性化計画について、2点目は、通学路の安全確保について、3点目は、魅力あるまちづくりの推進についての質問をいたします。9名が質問する予定でしたが、宮浦議員が欠席のため、宮浦議員の質問は加統議員が代読します。

それでは、私から質問します。

家族の車や自分の自転車で小松島市を移動していると、あちらこちらで高速道路の建設が行われている光景をよく目にします。また、先月の徳島新聞でも、徳島南自動車道路の一部の区間が開通し、利用できるようになったという記事を目にしました。いよいよ私たちのまち、小松島市にも高速道路が通り、神戸や大阪などの本州との行き来が便利になり、様々な町が高速道路でつながるんだなと楽しみが広がってきました。私たちは高速道路の開通をとっても楽しみにしています。そして、高速道路をきっかけに、小松島市がもっと発展できることも楽しみにしています。

そこで質問ですが、現在建設中である高速道路が小松島市で利用できるようになるのはいつ頃になるのでしょうか。また、今後の建設計画やインターチェンジの設置場所、周辺道路の整備計画等について、具体的に教えてください。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

小林都市整備部長。

[都市整備部長 小林 潤君 登壇]

◎ **都市整備部長（小林 潤君）**

徳重議員の御質問にお答えをさせていただきます。

国において、本市を含めた阿南・徳島沖洲間を無料区間として整備を進めております徳島南部自動車道は、四国4県を高規格道路で8の字に結ぶ四国8の字ネットワークの一部であり、人流や物流の活性化、さらには災害時における広域交通ネットワークの確保を目的とした道路であります。現在、前原地区、立江・櫛淵地区の2か所のインターチェンジ設置に向けた工事

をはじめ、各地区におきまして、橋梁やトンネル工事などの本格的な整備が進められており、本市といたしましても、本自動車道の早期供用が図れるよう、国、徳島県及び地域の方々との連携を図りながら、整備推進に取り組んでいるところであります。

今後の整備計画につきましては、本市と阿南市を結ぶ延長約753メートルに及ぶ羽ノ浦トンネル工事が令和4年11月1日現在におきまして、延長約695メートル、率にいたしまして、約92%の進捗が図られており、遅くとも今年度中の貫通を目途に掘削工事が進められております。また、当該区間で最も長い1,403メートルに及ぶ新居見トンネル工事につきましても、本年の冬季から掘削に着手する予定となっております。また、こうした高規格道路の整備効果をより広域に波及できるよう、平成31年2月には県道小松島港線が開通し、国道55号と港湾の直結による観光交流人口の増加や、徳島赤十字病院への救急搬送時間の短縮が図られており、近い将来、小松島インターチェンジの開通により、一層の効果発現を期待しているところであります。

このような中、現時点におきまして、本自動車道の供用開始の時期につきましては、国から公表されておりませんが、本日、徳重議員から強く要望があったことを重く受け止め、計り知れないストック効果を早期に享受できるよう、国に対し、開通時期の公表を皆様の声とともに要望するなど、市長をはじめ、職員一丸となって取り組んでまいります。今後につきましては、国、徳島県及び地域の方々と緊密に連携し、まず整備が先行しております立江・櫛淵地区の早期完成を目指すことにより、徳島南部自動車道立江櫛淵－阿南間の早期供用に向け、鋭意、整備推進に努めてまいりますので、皆様方のより一層の御支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

徳重宥毅議員。

◎ **小松島中学校（徳重宥毅議員）**

お答えいただきまして、ありがとうございました。具体的な説明で、とても勉強になりました。

以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）**

加統蓮己議員。

[小松島中学校 加統蓮己議員 登壇]

◎ **小松島中学校（加統蓮己議員）**

小松島中学校3年の加統蓮己です。僕は家族で高速道路を利用したとき、インターチェンジの出入口付近に目を引くような光景があまりないように感じました。最近では板野インターチェンジ付近に道の駅いたの、鳴門インターチェンジ付近に道の駅くるくるなるとができ、連日にぎわっていると聞きました。そこで、小松島インターチェンジ開通に合わせ、道の駅こまつしまをつくり、小松島の名産品をPRしつつ、道の駅こまつしまにしかないような施設を造り、地元の人はもちろん、県外の人たちにも興味を持ってもらえるようにしてはどうでしょうか。小松島インターチェンジができることによって、小松島市のよいところをアピールできるよい機会だと思いますが、市はどのように考えていますか。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

小林都市整備部長。

[都市整備部長 小林 潤君 登壇]

◎ **都市整備部長（小林 潤君）**

加統議員の御質問にお答えをさせていただきます。

議員御提案の高規格道路のインターチェンジを生かした道の駅こまつしまや、ここにしかない施設の整備による小松島市のPRにつきましては、地方創生を実践する上で必要不可欠なことであると認識いたしております。先ほどの徳重議員の御答弁で申し上げましたとおり、本市には前原地区と立江・櫛淵地区の2か所にインターチェンジが設置されますが、立江櫛淵インターチェンジにつきましては、本市を代表する特産物の産地であり、また赤石港から直結する交通の要衝として、令和元年9月に追加で連結許可された地域活性化インターチェンジであります。このことから、現在本市におきましては、新たな玄関口となる立江櫛淵インターチェンジの整備を契機に、地域の個性、魅力を生かしたにぎわいのある集客力の高い地域振興の拠点となる、いわゆる道の駅施設整備の実現に向けた計画の検討を進めているところであります。今後につきましては、この機会を生かし、小松島市の魅力を広くアピールできるよう、地域の皆様はもとより、次代を担う加統議員をはじめとする若い皆様方等から広く御意見や御提案を伺うなど、官民連携し、しっかりと取り組んでまいりますので、市の将来の発展に向け御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

加統蓮己議員。

◎ **小松島中学校（加統蓮己議員）**

お答えいただきまして、ありがとうございます。とても詳しく言ってください、本当に感謝いたします。

以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）**

田中翔太議員。

[小松島中学校 田中翔太議員 登壇]

◎ **小松島中学校（田中翔太議員）**

小松島中学校3年、田中翔太です。小松島市は大きな企業もなく、阿南市のように財政的な余裕が少ないとよく耳にします。現在建設中の小松島市を通る高速道路は大都市とつながる道になります。その道を使い、小松島市の財政を回復させ、少しでも僕たち子どもたちや学校の設備等にお金を回し、子育てしやすいまちづくりをすることで、さらに地域の活性化につながるのではないかと希望が膨らんできました。高速道路の開通により、我々小松島市民の生活をより高めていくためにはお金が必要不可欠です。そのためにも、企業誘致で小松島市の財政を立て直せるように願っています。しかし、小松島市では南海トラフ地震による津波の影響も予想されます。そこで質問したいのですが、新しく小松島市を通る高速道路や、今ある小松島港を使いやすく整備し、地震による津波被害に対応できる工場や企業が小松島市に来てくれるような企業誘致等の展望はどのようになっているのでしょうか、教えてください。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

中山市長。

[市長 中山俊雄君 登壇]

◎ **市長（中山俊雄君）**

田中議員の御質問にお答えいたします。

現在、本市におきましては、高速道路の本線やインターチェンジの建設が進められており、高速交通ネットワークが整備されることで、移動時間の短縮や輸送費の削減、貨物取扱量の増加といった生産性向上の効果や、生活環境の改善や快適性の向上といった生活の質の向上効果などが地域経済の発展につながるものと考えております。また、高速道路は主要な港湾への重要なアクセスとして、地域の暮らしを支え、物流やにぎわい、観光交流人口、産業振興の発展につながるものであります。本市におきましては、国の重要港湾に指定されている徳島小松島港があり、特にクルーズ船や内航船が寄港する本港地区や金磯地区の港を結ぶ小松島インターチェンジや、国際コンテナターミナルのある赤石地区の港へとつながる立江・櫛淵地区のインターチェンジにつきまして、現在地域の活性化に向けた検討を進めている本港地区とあわせて、物流やにぎわい、観光交流の拠点として整備に取り組んでおります。そのほかにも、高速道路は大規模災害における救援復旧活動や緊急物資の輸送路となる命の道としての役割を果たすものであり、本市への立地は災害時において事業継続できることが求められている企業にとっても、有利となるものであると考えております。

こうした高速道路の整備は、本市が企業誘致を進める上での強みになると考えており、高速道路を生かした利便性の向上や安全・安心なまちづくり、重要港湾の優位性を生かしたまちづくりを推進することにより、企業も積極的に小松島市に進出してくれるものと考えておりますので、私自身が先頭に立って、しっかりトップセールスを進めてまいりたいと思っております。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

田中翔太議員。

◎ **小松島中学校（田中翔太議員）**

お答えいただきまして、ありがとうございます。これからの小松島市の発展に向けて、すごく希望が持てました。

以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）**

江口慎吾議員。

[小松島中学校 江口慎吾議員 登壇]

◎ **小松島中学校（江口慎吾議員）**

小松島中学校3年の江口慎吾です。僕はサイクリングロードの照明設置や舗装等について、お聞きしたいと思います。

学校の帰り道でサイクリングロードをよく使うのですが、部活動や補習、生徒会活動で帰るのが遅くなったときに、暗くて道が見えなかったり、道路に段差があり、こけそうになったりしたことが何回かあります。もし、災害が起こったとき、逃げ道でそこが使えなくなると困ります。

そこで質問したいのですが、サイクリングロードや学生がよく通る場所の照明をLEDライトにしたり、段差等を整備し、通行する人の安全が保てるようになればいいと思います。小松島市の人々の安全につながることをしっかり取り組んでいただきたいのですが、いかがでしょうか。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

小林都市整備部長。

[都市整備部長 小林 潤君 登壇]

◎ **都市整備部長（小林 潤君）**

江口議員の御質問にお答えを申し上げます。

議員御質問の通学路の交通安全対策の取組につきましては、小松島南中学校の佐野議員への御答弁で申し上げました、関係機関におきまして通学路安全緊急点検を定期的に行っており、その結果に基づき、街路灯の設置などの支援を重点的に実施しているところであります。こうした取組の1つとして、街路灯のLED化につきましては、通学路の安全対策にとどまることなく、低炭素社会づくりの取組も市内で広げております。また、歩行者及び自転車利用者の増加により、市民の健康維持・増進や交通渋滞の緩和など、安全・安心な暮らしを支えながら、節電につながることもなります。さらに、中学校や高等学校の通学における交通手段として、自転車の利用が比較的多いため、日常生活はもとより、災害時の円滑な交通の確保を図るための舗装整備など、自転車利用の環境整備にしっかりと取り組んでまいります。

議員からは、通学路における実態を通学者の目線で御案内いただきましたこと、まさに現場の声を十分把握の上、その課題対策に反映することが最も重要なことです。通学路として、安全な通行の確保はもとより、地域を通り、まちや顔の見えるコミュニティーの活性化、地域経済の活性化など、効果的な整備につながるものと考えております。今後におきましては、議員をはじめ、次代を担う皆様方から、通学路に潜む危険性を具体的にいただけるよう、学校の皆様からの御意見、御要望等も反映できる新たな仕組みづくりについても、関係機関と検討してまいりたいと考えておりますので、引き続き御支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

江口慎吾議員。

◎ **小松島中学校（江口慎吾議員）**

お答えいただきまして、ありがとうございます。とても分かりやすかったです。

以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）**

前川龍太議員。

[小松島中学校 前川龍太議員 登壇]

◎ **小松島中学校（前川龍太議員）**

小松島中学校2年の前川龍太です。僕は登下校をしているといつも思うのですが、通学時の交通指導や見守り活動をしてくださっている人たちが非常に少ないと感じることが多々あります。それに、通学路もフェンスやカーブミラーがないところなど、危ないところが多く、昨年、小学生の死亡事故などの交通事故の事例も起きています。それをできる限り防止できたらいいなと思います。僕は月に1回程度のペースで、市民ができる範囲で多くの人が小中高生の登下校を見守ってくださるボランティア活動の日をつくるという提案をしたいと思います。そうすると、自然に毎日登下校を見守ってくれる人々が増えて、小中高生が安心して通学ができると思います。

そこで質問したいのですが、通学時の交通指導や見守り活動をしてくださっている方々が減少している現状ですが、どのような対策を小松島市は行っていますか。そして、今後の交通指導の方々を増加させていく計画も具体的に教えてください。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

佐藤市民環境部長。

[市民環境部長 佐藤文幸君 登壇]

◎ **市民環境部長（佐藤文幸君）**

前川議員の御質問にお答えいたします。

小松島市における通学時の交通指導や見守り活動については、各小学校区において通学路や交差点でのPTAや子ども会単位、また交通指導員による通学時の立哨、登下校時のボランティアなどで行われているところでもあります。あわせて、市では交通ルールを守るとともに、交通マナーを実践し、習慣化していくことも大切であることから、定期的な春と秋の交通安全キャンペーンなどの実施や、中学校や南小松島駅前でのリーフレットの配布、高校への自転車利用時のマナー向上を呼びかけております。前川議員御提案の通学時の交通指導や見守り活動をさらに充実してはとのことについては、警察、学校、関係各団体、市民の皆様に参加をお願いするボランティアでの活動と併せ、まずは現状の交通指導員の確保や、さらなる増員に努め、交通指導や見守り活動の充実を図るとともに、コミュニティ・スクールの活用など、地域ぐるみで安心して通学ができるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

前川龍太議員。

◎ **小松島中学校（前川龍太議員）**

お答えいただきまして、ありがとうございます。とても分かりやすく勉強になりました。以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）**

大西舞和議員。

[小松島中学校 大西舞和議員 登壇]

◎ **小松島中学校（大西舞和議員）**

小松島中学校3年の大西舞和です。私は自転車通学をしており、登下校時にスクールガードの方々が私たちの安全のために車で巡回してくださっているのをよく目にします。ほかにも、横断歩道への誘導をしていただいています。小松島市は、小・中学生の安全のためにいろいろな方が見守ってくださっているのだなと感じました。

そこで質問したいのですが、スクールガードや道路整備のほかに小・中学生の登下校の安全性を高めるためにどのような取組が行われているのでしょうか。今行われている取組について、具体的に教えてください。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

勢井副教育長。

[副教育長 勢井孝英君 登壇]

◎ **副教育長（勢井孝英君）**

大西議員の御質問にお答えいたします。

小松島市においては、通学路の安全確保に向けた取組を実施するため、国や県、小・中学校、警察署、PTA連合会、防犯協会と市役所の都市整備課や市民生活課など、通学路に関する部署とが協力し、通学路安全推進協議会という組織をつくっています。この組織の会員全員で各学校から報告があった危険箇所を確認し、実際に見に行き、安全対策を検討しています。ま

た、その効果についての検証も行い、よりよい対策になるよう改善等も行っています。例えば、小松島中学校前の交差点には、通行する車両に注意喚起するために、道路が赤色塗装されています。北小松島小学校前の道路には、歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、時速30キロメートルの速度規制をする、ゾーン30に指定しています。そのほかにも昨年度は横断歩道の塗り替えやカーブミラーの設置など、約20か所の対策を行っています。本年度も市内の小学校6校から報告があった、およそ60か所の危険箇所について、どのような対策が必要か協議することになっています。中・高生の皆さんも、交通ルール、マナーを守って、事故に遭わないよう注意して通学してください。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

大西舞和議員。

◎ **小松島中学校（大西舞和議員）**

お答えいただきまして、ありがとうございます。詳しく説明していただき、分かりやすかったです。

以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）**

三好陽大議員。

[小松島中学校 三好陽大議員 登壇]

◎ **小松島中学校（三好陽大議員）**

小松島中学校2年の三好陽大です。家族や地域の大人の人たちから聞いた話では、昔はもと町内会などの地域の関係が強くて、町内活動なども盛んに行われていたという話です。しかし、今は新しい住宅地ができたり、昔からの地域に人がいなくなり、町内会自体がなくなってしまうことが多いそうです。また、お年寄りの方が多くなり、いろんな活動ができる人が少なくなっているのも大きな原因かもしれません。しかし、それ以前に、町内や地域の人同士の関係が薄くなっていると聞きます。昔の人たちは何かにつけて集まったり、道端でおしゃべりをしていたり、大人も子どもも顔見知りでも気安く話しかけていたりしていたそうです。これらを解決するために、私たち学生からも、道で会った人には必ず挨拶をするなど、できることを積極的に行うようにしていけたらいいと思います。ぜひ、楽しい形でたくさんの方の顔や名前を覚えられたらいいなと思っています。僕たちもしっかりとできるところは協力していきたいと思っています。

そこで質問したいのですが、町内会行事を支援するなど、地域コミュニティを活性化させるための取組を推進してはどうでしょうか。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

勢井副教育長。

[副教育長 勢井孝英君 登壇]

◎ **副教育長（勢井孝英君）**

三好議員の御質問にお答えいたします。

近年、少子高齢化や核家族化の進展とともに、助け合わなければ自分の生活が成り立たないとか、地域の問題は自分たちで協力し合って解決しなければならないというような、地域住民同士のつながりが弱くなってきたことで、地域の持つ力である地域力が弱くなってきました。その一方で、自分たちの地域のことを行政にだけ任せとけないと、地域の方が立ち上げた自

主防災会や公民館運営委員会などの組織があります。自主防災会は、災害発生時に自分たちの地域を守るための防災訓練などの活動を、公民館運営委員会はそれぞれの公民館で開催されている芸能祭など、地域住民が参加するイベントの企画や運営などの活動を行っており、市は補助金という形で支援を行っています。また、小松島市内の学校ではコミュニティ・スクールを導入し、学校と保護者や地域の方々が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら皆さんの成長を支え、地域とともにある学校づくりを進めています。このような活動を通じて地域の絆が強くなるものと考えています。

三好議員の御提案にあるような、自分から必ず挨拶するなど、できることを積極的に行うようにするということや、協力していきたいという言葉は、これからの小松島市を考えると大変心強く感じています。その挨拶のときに、地域の方に町内会の開催等を尋ねるなどして、積極的に地域の行事に参加することにより、地域の方との交流を増やしていただきます。参加することで地域の方とのつながりを今後も積極的に持っていきたいと思っております。これからの小松島市が魅力あるまちになるためには、皆さんの力が必要です。皆さんがまちづくりの中心となり、地域の方々と共に地域の課題を考え、行政と共にどうすればよいか考えてほしいと思っています。私たち行政は、行政にできる支援を実施していきたいと思っています。魅力あるまちづくりのために、市全体で協力し合って、共に取り組んでまいりましょう。よろしくお願いいたします。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

三好陽大議員。

◎ **小松島中学校（三好陽大議員）**

お答えいただきまして、ありがとうございました。とても具体的で分かりやすかったです。以上で、私の質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）**

加統蓮己議員。

[小松島中学校 加統蓮己議員 登壇]

◎ **小松島中学校（加統蓮己議員）**

小松島中学校3年の加統蓮己です。宮浦議員の質問を代読します。

家族で外出しているときにいつも思うのですが、小松島市は子ども連れの家族で遊ぶことのできる施設が少ないので、遠くまで行かなければいけません。それに無料のWi-Fi環境が整っているところも、大きなショッピングセンターとコンビニぐらいしかありません。人を小松島市に呼び込む方法は、小松島市にレジャー施設を建設し、無料のWi-Fiを利用できるようにすることです。無料のWi-Fiや大きな施設があると、緊急時にすぐ連絡ができたり、地震などの災害時にもすぐ避難することができます。また、そのレジャー施設で3年に一度、ほかの都道府県にはないようなイベントを行い、インスタグラムなどのSNSで紹介するなどしてほしいです。そうすれば、小松島市は楽しそうなまちだと思われる、人を呼び込むことができると思います。

そこで質問したいのですが、この先、小松島市にレジャー施設の建設や無料のWi-Fiを利用できる場所を増やす予定はありますか。また、人を呼び込むために企業などとコラボして、小松島市のPR動画を制作してはどうですか、お答えください。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

西照総務部長。

[総務部長 西照保彦君 登壇]

◎ 総務部長（西照保彦君）

議員の御質問にお答えをいたします。

多くの人を小松島市へ呼び込むための魅力的な方法について、御提案をいただきました。

まず、市内のレジャー施設などの建設につきましては、現在、競輪場施設内にスポーツパークを新設するため、令和8年度末の完成を目途として整備を進めております。子どもだけでなく、大人も一緒に家族で楽しめる施設となるよう、今後皆様の意見を幅広く取り入れるためのニーズ調査を行いまして、小松島市にしかないようなオンリーワンの魅力ある施設を目標に取り組んでまいりたいと、このように考えております。また、本年度、令和4年度から小松島本港地区及び中心市街地の活性化に向けた取組も進めております。この取組は港を中心に栄えてきた本市にとって、小松島市の魅力を県内外へ発信、アピールするために欠かせないものと考えておりますので、今後、本港地区や中心市街地の活性化を進めていく中で、本市の魅力発信につながるレジャー施設の建設や、また誘致についても検討していく必要があるかと考えておりますので、御理解のほどよろしくお願いを申し上げます。

次に、無料のW i - F i 環境を整備する御提案もいただきました。昨今、スマートフォンやタブレットの普及により、外出先の至るところで無料のW i - F i 環境の整備が求められております。市内の公共施設においては、ステーションパークや市立図書館、サウンドハウスホールや市役所本庁舎などにおいて既に整備が完了いたしておりますが、引き続きより多くの場所で利用できるよう、他の公園施設や公民館等への整備を進めていくとともに、整備状況の周知にも努めてまいりたい、このように考えております。

また、市のPR動画についても御提案をいただきました。近年では、多くの自治体が自分たちのまちの魅力をお伝えするために、PR動画をはじめ、SNSを活用した取組を進めております。小松島市でもフェイスブックやインスタグラム、ユーチューブなどを利用して、市内外に向けた情報発信を行っておりますが、その中でも、今、特に力を入れておりますのは、インフルエンサーによる情報発信であります。様々な分野で活躍している、本市にゆかりのある方にふるさとアンバサダーとして就任していただき、本市をPRする活動をお願いしているところであります。影響力や発信力のある人から本市の魅力を発信していただくこの取組は、効率よく多くの人々に情報を届けることができ、小松島市のPRには非常に有効な方法だと考えております。現在、4名の方にふるさとアンバサダーとして活動をしていただいておりますが、そのうちの一人が、タレントでマラソンランナーの福島和可菜さんであります。福島さんは、これまでも全国各地で小松島野菜のオクラのPRを行うなど、積極的に本市の宣伝と魅力の発信を行っていただいております。昨日開催されました小松島逆風ハーフマラソンにも参加していただき、ランナーとして、またアンバサダーとしてイベントを盛り上げていただいております。後日、大会の様子などを配信していただけるというふうに伺っております。

このように、本市を応援していただける人を通して小松島市の知名度を上げ、小松島ファンを増やしていきたいと考えておりますが、学生の皆さんにも、自分たちが住んでいる地域や市のPRにぜひ御協力をしていただきたいと思います。小松島ファンを増やすためには、皆さんからの情報発信が大きな力となります。学生の皆さんにもインフルエンサーとなっいただき、小松島市が元気で楽しいたくさんの方が集まるまちになるよう、皆さんと共に魅力あ

るまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

加統蓮己議員。

◎ **小松島中学校（加統蓮己議員）**

お答えいただきまして、ありがとうございます。小松島市のことをより知ることができました。

以上で、質問を終わります。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）**

山本創太議員。

[小松島中学校 山本創太議員 登壇]

◎ **小松島中学校（山本創太議員）**

小松島中学校3年の山本創太です。僕は健康のまち小松島を推進してはと思います。理由は3つあります。

1つ目は、一目見ただけで、このまちは何を頑張っているのかが分かるからです。例えば、徳島県で言うと、阿南市は野球のまち阿南という看板を掲示しています。

2つ目は、小松島市には娯楽が少ないと思います。僕の友達は長時間遊ぶとなったら、大多数はゲームか市外へ遊びに行くかのどちらかです。小松島市の施設で遊ぶということはあまりしません。そこで、市外からも人が集まるような大きな施設を造ってはどうか。少し風変わりなものでも構いません。例えば、本が買える図書館や水上アスレチックなどいろいろあります。ぜひお願いします。

3つ目は、田舎は都会に比べて車を使う機会が多いことから、日頃の運動量が少ないからです。やはり運動量が少ないと、体にも悪影響を及ぼしかねません。そこで、マラソン大会などで体を動かすことにより、高血圧や肥満の人を少なくすることもできると思います。市営プールの魅力化やアスレチック施設の整備、マラソン大会の開催などにより、小松島市を健康のまち小松島としてはどうか。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

勢井副教育長。

[副教育長 勢井孝英君 登壇]

◎ **副教育長（勢井孝英君）**

山本議員の御質問にお答えいたします。

現在、本市で多くの人が集まることのできる施設は、市立体育館、市営プール、ステーションパーク、サウンドハウスホールなどがあります。中でも、主に市民のスポーツやレクリエーション活動などに利用されている市立体育館や市立武道館では、年間5万人以上の利用があります。市営プールでは、毎年7月、8月の2か月の開設期間中に4,000人以上の利用があるほか、旧坂野中学校、旧立江中学校の体育館・運動場を体育施設として利用しています。また、市内小・中学校の体育館や運動場も、学校教育に支障のない範囲で学校体育以外に開放しています。JAあいさい緑地には、野球場と多目的広場があり、野球、サッカー、グラウンドゴルフ、陸上などの競技で利用があります。また、スポーツイベントでは、さきの御質問の答弁でもありましたとおり、昨日6日に本市で初の小松島逆風ハーフマラソンを開催し、お天気にも恵まれ、

市内外からたくさんの方に御参加いただきました。

徳島県唯一の競輪施設である小松島競輪場では、競輪バンクを開放して、競輪場でデイキャンプというイベントを7月17日に開催しました。今月23日にはイベント第2弾として、小松島競輪サイクルフェスタを開催します。全国を転戦するMAXライダーグランプリや、フードマルシェコーナーなど盛りだくさんのイベントとなっています。施設整備としては、これもさきの御答弁にありましたとおり、競輪場施設に新設するスポーツパークがあり、若者に人気のスポーツ等への利用も見込まれます。

そのほか、市民クロスカントリー大会やなわとび大会、スポーツ少年団駅伝大会など、各種大会を行い、健康増進やスポーツに親しんでいただく活動に取り組んでいます。今年度からは、大会利用がない日曜・祝日に市立体育館メインアリーナを開放し、レクリエーションなどで思いつき体動かしてもらおう、子どもの遊び場づくり事業に新たに取り組めます。

今後も市民の皆さんが魅力を感じられる施設整備の充実、スポーツイベント等の開催などに取り組む、運動することを習慣としてもらうことで、健康のまち小松島を推進していきたいと考えております。御協力のほどよろしくお願いいたします。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

山本創太議員。

◎ **小松島中学校（山本創太議員）**

お答えいただきまして、ありがとうございました。それらのイベントをとっても楽しみにしています。

以上で、小松島中学校の質問を終わります。私たちの思いを聞いていただき、ありがとうございました。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）**

以上で、小松島中学校の通告による市政に対する一般質問は終了いたしました。

◎ **議長（小谷璃心議員）**

以上で、学生議会の日程は全て終了いたしました。

学生議会の散会に当たり、市長より御挨拶があります。

中山市長。

[市長 中山俊雄君 登壇]

◎ **市長（中山俊雄君）**

令和4年学生議会の散会に当たりまして、御礼の御挨拶を申し上げます。

まずは、小松島高等学校及び小松島西高等学校並びに小松島中学校及び小松島南中学校の学生の皆様方から、「ずっと住み続けたい小松島にするためには」というテーマに沿って様々な市政に対する御質問をいただきましたこと、また学生議会の開催の調整に御尽力を賜りました市議会並びに各学校関係者をはじめ、学生の御家族の皆様方にも感謝と御礼を申し上げます。特に、今回御質問をいただきました5名の高等学校の皆様並びに11名の中学校の学生の皆様をはじめ、本日議長の大役をお引き受けいただきました学生の皆様方におかれましては、ふだんの学校生活とは異なる本会議場という雰囲気非常に緊張されたかと存じます。忙しい学業の合間に事前準備をしていただきましたことに対しまして、改めて感謝を申し上げます。

本日の学生議会の趣旨につきましては、次世代を担う学生の皆様方が議場での質問をする過程

や体験を通じて、市政や議会への関心を高めることを目的に開催されており、市政を預かる私といたしましても、若い皆様方からの市政発展に向けた様々な御提案に対しまして、真剣勝負の心の通ったキャッチボールをするという気持ちで、幹部職員が一丸となって答弁作成に当たったところであり、本日の学生議会で賜りました貴重な御提言を今後の小松島市政の推進に生かしていく思いを新たにいたしましたところでございます。

私自身が、令和2年6月に市長に就任してから3年目となりますが、就任に当たっては、人口減少が進展し、まちの魅力や活力が失われた我がまち小松島を変えなくてはとの気概を持って、本日の学生議会のテーマにも相通ずる本市が抱える喫緊の課題に真正面から向き合う覚悟で、これまで市政推進を図ってまいりました。本日、皆様方からいただきました御質問につきましては、安心して子どもを産み育てやすい環境づくりを念頭に置いた、子育て世帯への支援策の拡充や雇用の場創出のための企業誘致等をはじめ、人、物の流れを生み出し、将来の小松島市の発展や活性化の鍵となる高速道路の供用開始に向けた施策のほか、スポーツイベント開催等を通じた様々な活性化策並びに通学路の安全確保に向けたハード・ソフト対策の実施など、本市にとりましても優先的に取り組むべき課題と認識しております。とりわけ、人口減少対策は本市のみならず、全国の地方自治体にとりましても最優先課題であり、人口減少を抑止していくためには、皆様方のような若い世代や子育て世代から高齢者の方々など、あらゆる世代の市民の方々が今後も住み続けたいと思うような選ばれるまちとして認知され続けることが重要であります。

本市では、本年度から子育て世代応援プロジェクトと題し、子育て世代の方々がお子さんを安心して産み育てやすい環境整備に向けた取組を幾重にも積み重ねるとともに、本港地区の活性化を目的とした人の流れを生み出すための一体的整備に向けた様々な施策等も実施していくこととしており、こうした取組にも関心を持っていただければと存じます。

結びに当たり、学生の皆様には本日の学生議会で共に議論した経験を生かし、これからも地域社会の一員として、皆様の豊かな感性と自由な発想でもって市政に参加していただきたいと思っております。そして、私たち行政は皆様が住み続けたいと思っただけのよう、「未来へ輝く希望と信頼のまちこまつしま」の実現を目指し、職員一丸となって頑張っただけのよう、皆様も、ふるさと小松島市の魅力を存分に感じていただき、将来、小松島市を支える人として成長されることを御期待申し上げまして、散会の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。（拍手）

◎ **議長（小谷璃心議員）** これをもって、学生議회를散会いたします。

午後 4時54分 閉会

令和4年学生議会発言者一覧表

小松島西高等学校

件 名	要 旨	発言者名
J R 中田駅周辺の整備について	現在ある線路跡地の遊歩道をきれいに整備し、市民のランニングやサイクリングコースとして健康増進の場と憩いの場を提供してほしい	坂井 心音
行事等が開催できる設備の建設について	体育的な行事を開催することができる体育館を増設してほしい。国内でも盛んに行われているバスケットボールやバレーボール等の試合を開催したり、小松島市民が楽しめるスポーツイベントを開催することで、スポーツが盛んな市としてPRできるのではないかと考える	栗本 侑季
イベントの再開や、大規模なマルシェを開催してほしい	本校が設置している4科（商業科・食物科・生活文化科・福祉科）が参加できるイベントを開催してほしい。特に販売活動や料理コンテスト、ファッションショー、福祉体験等が実施できれば地元の高校としてのPR活動につながるのではないかと考える。さらに、地元の中学校・高校が連携したイベントや発表等の機会があれば地域を盛り上げることができるかと考える	井上 流帆

小松島高等学校

件 名	要 旨	発言者名
「行きたいと思う小松島」にするには	eスポーツを行うための施設づくりや大会の開催が必要では	岡田 結雲 (欠席)
働きやすい小松島にするためにはどうすればよいか	徳島市や阿南市と比べて就職先が少ないように感じる 仕事をしている人を支えるだけの子育て支援はあるのか	早川 蒼真
陸上競技に打ち込める環境整備について	和田島町のあいさい緑地のトラックをタータントラックに改修するよう県に要請してほしい	篠原 朝

小松島南中学校

件名	要旨	発言者名
ずっと住みたい小松島にするためには	なぜ街灯が少ないのか	佐野 修斗
	子どもへの経済的な援助という点において、具体的にどこにお金を使っているのか	松二 心春
	徳島市や阿南市は発展しているのに、小松島市はなぜ発展しないのか	稼勢 結音
	大型ショッピングモールの誘致についてどう思うか	

小松島中学校

件名	要旨	発言者名
小松島インターチェンジの開通に向けた小松島市の活性化計画について	高速道路建設の今後の予定はどうなっているか。小松島インターチェンジはいつできるのか	徳重 有毅
	小松島インターチェンジの開通に合わせて「道の駅こまつしま」をつくり、小松島の名産品をPRしてはどうか	加統 蓮己
	小松島インターチェンジの開通を見越した企業誘致等の展望はどうなっているか	田中 翔太
通学路の安全確保について	サイクリングロード等、中高生の通学路の照明設置や舗装等についての整備計画と進捗状況は	江口 慎吾
	小中高生の通学時の交通指導や見守り活動をさらに充実させてはどうか	前川 龍太
	その他、小中高生の通学の安全性を高めるためにどのような取組が行われているか	大西 舞和
魅力あるまちづくりの推進について	町内会行事を支援するなど、地域コミュニティーを活性化させるための取組を推進してはどうか	三好 陽大
	市内の主な施設や公園等に、無料のWi-Fi環境を整備してはどうか。また、影響力のある企業等とコラボして、小松島市のPR動画を制作してはどうか	宮浦 優乃 (欠席)
	市営プールの魅力化やアスレチック施設の整備、マラソン大会の開催など「健康のまち小松島」を推進してはどうか	山本 創太